

講義名	企業論特別講義（流通）		
科目区分	特別研究		
担当教員	長坂 泰之		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

私たちは普段はあまり流通を意識していませんが、流通は日常生活に密接に関連しており、流通なしには生活ができないと言っても過言ではありません。当科目では1年生を対象として、主として生活者と流通の接点である「店」を中心に流通の基礎を学ぶことで、流通の基礎とこれからの役割について考えていくこととします。

到達目標

流通が私たちの生活とどう関係しているかを理解し、流通に対する学びへの関心を高めることが目標です。

提出課題

毎回の小レポート、中間試験（8回目を予定）、期末試験（15回目）で評価します

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

必要に応じて講評・解説等によりフィードバックをします

評価の基準

①出席・小レポート45%
 ②中間試験25%
 ③期末試験30%
 なお、評価項目及びウェイトを変更することがあります。

履修にあたっての注意・助言他

【復習】 授業内容の振り返りと授業を通じて役に立ったことの振り返りを必ず実行してください。

教科書	1からの流通論	石原武政ほか	中央経済社	2400	9784502662508
-----	---------	--------	-------	------	---------------

プリント資料及び参考文献

適宜配布します。
 参考文献は以下の通りです。
 「よくわかる流通業界」（月泉博著、日本実業出版社）
 「流通論の基礎」（住谷宏著、中央経済社）
 「販売士3級テキスト&問題集」（翔泳社）

授業計画

第1回 イントロダクション
 第2回 流通とは、流通業の発展の系譜
 第3回 生活に密着した小売業
 第4回 小売業の様々な業種・業態①
 第5回 小売業の様々な業種・業態②
 第6回 小売業の様々な業種・業態③
 第7回 小売業の集まった商業集積
 第8回 中間試験
 第9回 小売業のマーチャングライジング
 第10回 小売業のストアオペレーション
 第11回 小売業のマーケティング
 第12回 小売業の販売・経営管理
 第13回 流通の要の卸売業・卸売機能
 第14回 製造業の流通戦略
 第15回 期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
○ エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
 シラバスに毎回の講義の概要が記載されているので、不明な単語については予め調べておくこと（15～30分）
 【復習】
 ①講義内容のポイントをまとめ、②自らの役に立ったことや社会に出るうえで参考になったことをレポートとして取りまとめることで、振り返りとなると考えている。業界に興味のある学生がさらに学習を進めて欲しい（15～60分）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

流通に関する特定のテーマを設定して、グループワーク、発表をする機会を設定します。

実務経験の有無及び活用

【実務経験あり】
 中小企業診断士の資格を持つ教員による講義を通じて、中小企業診断士の視点から現場目線で流通を学びます。

備考